



平成26年 5 月 16 日

各 位

会 社 名 東京都千代田区永田町二丁目11番1号  
アルコニックス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 正木 英逸  
(コード：3036 東証第一部)  
問合せ先 取締役常務執行役員 宮崎 泰  
財務本部長

TEL 03-3596-7400

## 中期経営計画策定のお知らせ

当社は、平成27年3月期を初年度とする平成29年3月期までの3年間の中期経営計画を策定しましたのでお知らせいたします。

当社は引続き、経営を取り巻く情勢の変化にスピーディーに対応するため、一年毎に経営計画を見直し、ローリングする方針としております。

### 1. 全体戦略

- (1) 業容拡大のため川上、川中、川下等のM&Aの推進、及び新規事業投資案件の発掘、推進
- (2) 成長著しいレアメタル及び電子・機能材分野の更なる強化
- (3) アルコニックスグループの商いの基盤をなすアルミ、銅分野の維持・拡大
- (4) 環境問題に対応したリサイクル分野の強化
- (5) 海外店ネットワークの更なる充実により顧客ニーズに応えるとともに、地場取引や三国間取引を増やすべく商社機能を発揮

### 2. 経営目標（数値目標は計画の最終年度である平成29年3月期の目標値）

#### 連結ベースでの企業価値向上と持続的成長

利 益 目 標	経 常 利 益	50億円超
	当 期 純 利 益	35億円超
経 営 指 標	R O E	13～15%程度
	N E T D E R	1.0～1.3倍程度
投資計画	3年間で150億円 ※対象：M&A、事業投資、設備投資	

※詳しくは、添付資料をご参照ください。

以 上

【添付資料】

## 中期経営計画

2015年3月期～2017年3月期の3カ年計画

環境の変化に迅速に対応し、よりスピーディーな意思決定をはかるため、  
期間を3年とする1年毎更新のローリング方式を採用

## 中期経営計画の全体像

中期経営計画



基盤事業をなす軽金属・銅取引の安定と更なる拡大  
及びレアメタル・電子機能材分野における存在価値の向上  
さらに非鉄金属商社の枠組を超えた  
「成長ドライバーとなる新規事業の創出と育成」に努め、事業領域拡大の継続

### アクションプラン

全体戦略から展開する下記の5つのアクションプランを実行し企業価値向上に努める



## 数値目標(最終年度:2017年3月末)

中期経営計画

### 利益目標

連結経常利益: 50億円超(2017年3月期)



連結当期純利益: 35億円超(2017年3月期)



### 経営指標

ROE: 13~15%程度(2017年3月期)



NET DER: 1.0~1.3倍程度(2017年3月期)



### 投融资計画

3年間で150億円

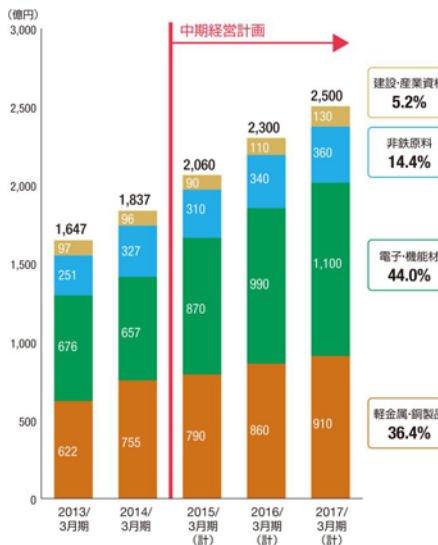
対象: M&A/事業投資/設備投資純額(設備投資-償却額)

▶詳しくは P8投資案件の推進

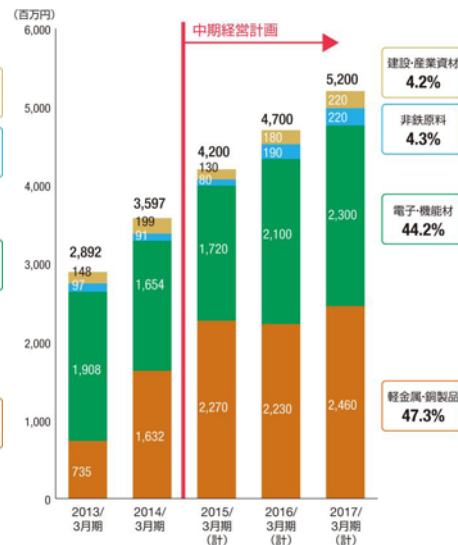
## 事業別計画

中期経営計画

### 売上高



### セグメント利益



① 電子材料分野

原料(レアメタル・レアアース)から製品(電子材料・機能材料)までを網羅したビジネスモデルを展開



② 環境対応関連分野

省エネ、環境対応素材からリサイクル事業まで幅広く、国内外にて積極展開



③ 海外事業展開

海外ネットワーク



1 地場取引拡大

現地進出の日系企業及び現地企業との地場取引拡大

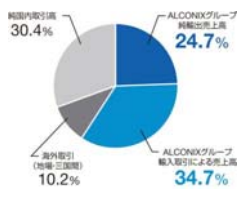
2 三国間ビジネスを拡大

海外店間の取引拡大

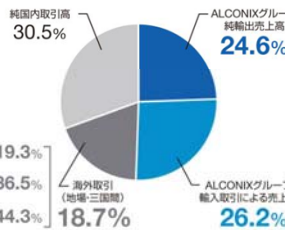
3 海外拠点の拡大を展開

海外ネットワーク充実のためインドネシア・インドなどに拠点設立を検討

貿易取引額(連結 2013年3月期)



貿易取引額(連結 2014年3月期)



ALXの三国間取引  
子会社(Universal)の  
地場、輸出取引  
(地場・米国、中国/  
輸出カナダ、東南アジア等)  
海外法人の地場、海外取引他

アジア諸国向け輸出	56.3%
北米向け輸出	15.3%
欧州向け輸出	10.8%
中南米向け輸出	7.8%
子会社(AAMJ)の輸出取引 (韓国、中国、東南アジア等)	5.4%
その他	4.4%
アジア諸国から輸入	83.4%
欧州から輸入 (ロシア、CIS諸国を含む)	9.3%
中南米から輸入	2.1%
その他	5.2%

投資案件の推進-1

① 実績

短期間での業容拡大に有効なM&A、新たな商流を創出するための金属加工・販売事業等への事業投資及びリサイクルを含む資源確保のための投資を重点施策として推進

M&A 10件(実績)



●大羽精研株式100%を取得し連結子会社化  
(2013年5月)



●米国UNIVERTICAL CORPORATIONの株式  
100%を取得し連結子会社化(2012年12月)



●大阪アルミセンターの事業譲受(2013年4月)

製造業に対するM&A 3件

商社・問屋に対するM&A 7件

事業投資 29件(実績)

●上海龍陽精密複合銅管有限公司の株式25%を取得し、持分法関連会社化(2012年4月取得)  
世界最大の精密銅管メーカーである金龍グループの中核企業に出資し、製品販売を通じて新たな商流の創出、グローバルな銅管取引の拡大。

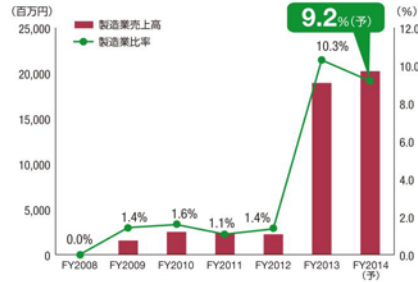
●恒基創富(佛山)金属製造有限公司の株式35%取得、持分法関連会社化(2012年9月取得)  
広州の大手資本グループ広東恒基金属製品実業有限公司との合併事業であり、華南地区における日系自動車、家電メーカー向けを中心に当社の商流を拡大。

その他国内外において27件に出資、当社の関連会社、出資会社として新たな商流の創出、業容拡大に貢献

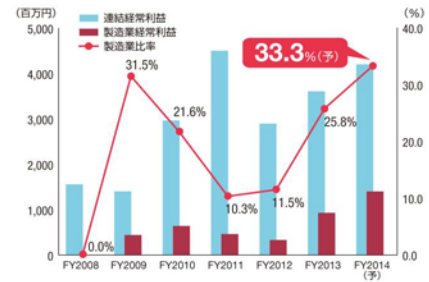
② 製造業への進出状況

製造業へのM&A、投融資の推進により、商社と製造業の一体経営によるシナジーを発揮。また、アルコニクスグループの独自性、優位性を創出するとともに、原料調達から製造、販売までを一貫して手掛けることにより市場競争力アップと安定した収益体質を目指す。

■ 製造業比率(売上高)



■ 製造業比率(経常利益)



(注) 上記グラフの対象はM&Aをした主要製造子会社4社を対象に算出している。また、子会社数は個別決算数値を使用し連結消去は加味しない。

主要製造子会社  
(当社100%出資)

(軽金属・銅製品事業)  
**大川電機製作所** (東京都)  
通信機器用切削加工部品

(軽金属・銅製品事業)  
**大羽精研** (愛知県)  
半導体製造装置用  
精密加工部品

(電子機能材事業)  
**UNIVERTICAL HOLDINGS INC.** (米国・中国)  
めっき素材

③ 検討案件

3年間でM&Aを中心に**150億円**の投融資を計画

M&A

- ・国内外における製造業を中心としたM&Aの推進
- ・下記の範囲における、非鉄金属を中心とした鉄鋼、化学品等の広い分野をM&Aの対象とする。  
川上: 製造業・リサイクルセンター  
川中: 商社  
川下: 問屋、小売



投融資

- (金属・化学品・加工分野)
  - ・自動車部品、住宅建設資材メーカーのケイ・マックへの出資、業務提携
  - ・米国銅管工場への出資
  - ・中国・東南アジアでの金属加工品製造の合併事業、スリットセンターへの投融資
  - ・鉄鋼関係副資材の販売事業への出資
- (資源確保分野)
  - ・国内外でのレアメタルリサイクル事業への投融資
  - ・レアメタル・レアアース鉱山、製錬事業への投融資(アセアン等)



設備投資

- ・上記の投融資の他、当社グループの大川電機製作所での航空機部品の加工工場増設、Univerticalにおける新興国におけるめっき素材需要取り込みのため生産設備増設を計画しており今後3年間で30億円程度の設備投資を計画